

■多治見市地域公共交通網形成計画 令和 4 年度における進捗状況について（令和 5 年 1 0 月時点） 【凡例】◎：実施 ○：一部実施 △：検討中 ×：未実施 ―：評価対象外】

事業名	事業概要	実施期間 (年度)	実施主体	進捗状況	実施状況	今後の予定・課題
1-① 鉄道の運行	JR中央線、JR太多線の運行	R2～R5	東海旅客鉄道株式会社	◎	・JRにより運行	・運行継続
1-② 多治見駅における案内の改善	多治見駅における総合案内板設置等、公共交通案内の改善	R2～R5	市／市観光協会／交通事業者	△	・表示方法（壁面式や床への表示）を検討中	・設置に向けて協議中。
2-① 基幹交通の維持	基幹交通におけるサービス水準の維持	R2～R5	バス事業者／市／地域公共交通会議	△	・基幹交通 10 路線の内、3 路線（桜ヶ丘ハイツ線、笠原線、ホワイトタウン線）については 1 日 10 本以上を維持した。バス乗務員の不足により令和 4 年 10 月に大幅な改編が行われ、7 路線で 1 日 10 本を下回った	・基幹交通として路線維持を図りつつ、市全域での今後の公共交通ネットワークのあり方を検討 ・利用促進策及び乗務員確保策については、本協議会での協議を実施
2-② 200 円バスの継続実施	200 円バスの継続的な実施と事業見直し検討	R2～R5	市／バス事業者／地域公共交通会議	◎	・平成 27 年 10 月 1 日から、「路線バス昼間運賃割引制度（200 円バス）」を導入。制度継続実地中であるが、コロナ禍において利用者数は制度導入前から減少。平成 27 年度比 0.83 倍（実数） ・自主運行バス諏訪線平日 2 便の昼間運賃割引制度は継続実施中	・継続的な制度実施に向けて 200 円バス時刻表の配布やその他 P R 事業等の利用促進策を継続実施
2-③ バス停の新設・改善	バス停の新設及び既存バス停における安全確保	R2～R5	市／バス事業者／警察／地域住民	△	・バス停へのベンチ設置要望があり現地確認を実施、通行の支障と安全上の問題から設困難と判断	・今後も必要に応じて既存バス停の整備や安全確保を検討
2-④ バリアフリー車両の導入	ノンステップバス等の導入	R2～R5	バス事業者／市／地域公共交通会議	○	・東濃鉄道㈱においてノンステップバスを随時導入（R5.10.1 時点導入率 24%） ・ききょうバス中心市街地線は全てノンステップバスを導入	・今後も多治見市バリアフリー基本構想に基づきノンステップバスの導入を継続
2-⑤ 片道定期券等の導入	送迎者を対象としたバス転換策（片道定期券等）の実施	R3～R5	バス事業者／市／地域公共交通会議	△	・送迎者対象ではないが、ききょうバスにおいて学生向けの割引を検討しました	・ききょうバス沿線の高校生に利用してもらえる方策を検討したが、今年猛暑が原因と思われる夏場の利用者が大幅に増加し乗車できなくなる恐れがあった、次期計画も見据え検討
2-⑥ バス乗車員確保	交通事業者、県等と連携した乗務員就労支援	R3～R5	市／バス事業者	○	・東京有楽町交通会館内の「ふるさと回帰支援センター」に乗務員募集のチラシを設置 ・東濃鉄道㈱と募集の策について検討中	・コロナ禍における運転手募集の実施方法の検討 ・市の移住定住施策と併せた、市外及び県外からの乗務員募集策の検討
3-① コミュニティバス中心市街地線の運行	中心市街地線の運行と継続的な運行改善	R2～R5	市／バス・タクシー事業者／地域公共交通会議	◎	・毎年度利用実態に応じた改編検討を実施 ・令和 4 年度においては改編を要せず ・パロー多治見店建替工事中及び建替後のバス停について協議し設置の内諾をいただいた	・今年度は利用実態調査を 11 月以降に実施予定 ・調査結果に基づき、運行内容を検討
3-② 乗継ぎ利便性の向上	コミュニティバスと路線バスの乗り継ぎ利便性の向上	R2～R5	市／バス・タクシー事業者／地域公共交通会議	○	・路線バスとコミュニティバス間の乗継ぎ利便性を図るため、「多治見駅乗継券」を発行	・乗継券は今後も継続実施
4-① 地域あいのりタクシーの充実	あいのりタクシーの制度見直し・導入拡大	R2～R5	地域住民／市／バス・タクシー事業者／地域公共交通会議	○	・市内 16 地区で地域あいのりタクシーを実施	・今後も地域の要望に応じて導入支援を実施 ・必要に応じて制度の拡充及び見直しを検討
4-② 地域内交通の導入支援	市による地域内交通の導入支援	R2～R5	市／地域住民／バス・タクシー事業者／地域公共交通会議	◎	・バスタク（2 ルート）を継続運行 ・自主運行バス諏訪線を継続運行	・地域の実情に応じた交通手段の検討
4-③ 地域内交通の導入	地域の実情に応じた地域内交通の導入	R2～R5	地域住民／市／バス・タクシー事業者／地域公共交通会議	◎	・令和 4 年 4 月 1 日から「小泉根本よぶくるバス」の本格運行を開始	・地域の実情に応じた交通手段の検討
5-① タクシー車両のバリアフリー化	UD(ユニバーサルデザイン)タクシーの導入拡大	R2～R5	タクシー事業者／市／地域公共交通会議	○	・東鉄タクシーが現在 2 台の UD タクシーを導入	・UD タクシーは車いす利用者の乗降に広い道幅が必要なこと等課題が多いため、UD タクシーに限らず、バリアフリー対応車両の導入拡大を目指す
5-② タクシー乗務員確保	交通事業者、県等と連携した乗務員就労支援	R3～R5	市／タクシー事業者	○	・令和 3 年度に引き続き、コロナ禍による運転手の収入減少に対し、離職防止を目的とした支援金を交付（多治見市新型コロナウイルス感染症対策タクシー事業者運行継続緊急支援金）	・コロナ禍における運転手募集の実施方法の検討 ・市の移住定住施策と併せた、市外及び県外からの乗務員募集策の検討
5-③ 新たな交通手段導入の研究	タクシー事業者のノウハウを活用した自家用有償運送の体制づくりの研究	R3～R5	タクシー事業者／自家用有償旅客運送事業者／市／有償運送運営協議会	―	―	・現在、交通が不便な地域はあいのりタクシーの導入促進を図っているため、自家用有償運送は必要に応じて検討

事業名	事業概要	実施期間 (年度)	実施主体	進捗状況	実施状況	今後の予定・課題
6-① 福祉有償旅客運送事業の適正な運営	障がいのある方等の移動手段の確保に向けた適正な事業運営の協議	R2～R5	自家用有償旅客運送事業者／市／有償運送運営協議会	—	・現在事業を実施する事業者なし	・事業の実施を希望する者からの申出があった際には、有償運送運営協議会で協議 ・需要（利用希望者数）を把握
7-① 分かりやすい公共交通情報の提供	200 円バス時刻業やGoogle MAP対応による情報提供	R2～R5	市／交通事業者	○	・毎年、200 円バス時刻表とききょうバス時刻表を発行（各戸配布） ・路線バス、コミュニティバスが一部時刻検索システムに対応	・さらに多くの検索システムに対応するよう、G T F－S 形式でのデータ整備を実施
7-② 企画乗車券の導入	既存交通手段を活用した企画乗車券の導入	R3～R5	市／バス・タクシー交通事業者／企業／地域公共交通会議	△	・路線バスとききょうバスの1 日乗車券の電子化 CentXを導入（東濃鉄道）	・観光部署と連携した利用者増加に結び付く企画の検討
7-③ 高齢者を対象とした利用促進	高齢者を対象とした乗り方教室等の開催	R2～R5	市／バス・タクシー事業者／悠光クラブ／地域公共交通会議	○	・コロナの影響により、講習会等の開催は自粛 ・年度当初に配布するバス時刻表に、運転免許自主返納者への各種割引制度を紹介	・講習内容の検討
7-④ 子どもを対象とした利用促進	園児・小学生等を対象とした公共交通イベントの開催	R2～R5	市／バス・タクシー事業者／企業／幼・保・学校／地域公共交通会議	◎	・市、東濃鉄道㈱、ピアゴ多治見店が協働しバスまつりを開催（参加者 477 人）	・今後もバスまつり等の啓発活動を実施